



<http://www.fctokyo.co.jp/>





東京フットボールクラブ株式会社  
代表取締役社長  
阿久根 謙司

## ごあいさつ

平素はFC東京に多大なるご理解、ご声援を賜りありがとうございます。

2013シーズンは開幕前から選手が自ら「今年はタイトルを獲りに行く」と話していましたが、シーズンが始まってみると、ミスや緩さが出たり、勝ちきるための攻撃のアイデアが表現できなかったことから、下位のクラブに勝ち点を取りきれないということがありました。得点力は一昨年に比べ14点も伸ばすことができ、リーグ3位の61得点を奪いました。攻撃サッカーは着実に進化できたと考えております。ところが失点も4点増え、47失点と首位の広島には18点もの差をつけられました。

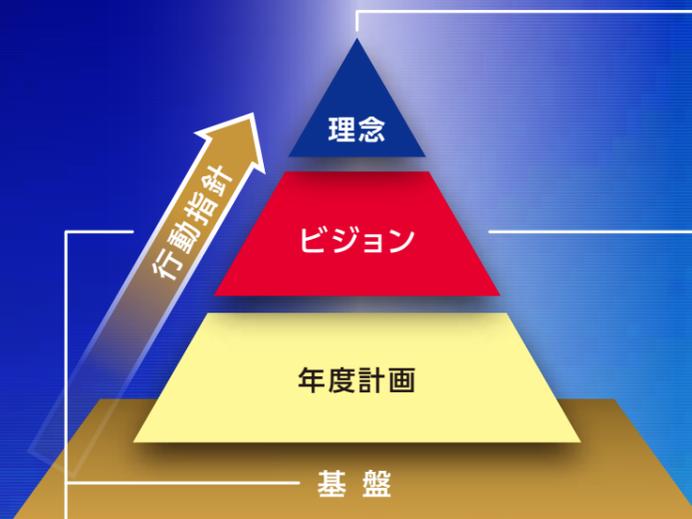
課題は明確です。攻撃サッカーを継続するための守備の構築です。そのために招聘したのがJリーグ初のイタリア籍監督であるマッシモ フィッカデンティ氏です。これまでの2年間は攻撃中心の練習によるチーム構築を行ってきましたが、今年1月からは攻撃の起点となる守備の構築についてディテールにこだわって取り組んでおります。選手は詳細な守備についてのルールや考え方について毎日トレーニングを積み、これが構築された際には確実に失点が減ると確信しています。従いまして、開幕ダッシュというわけにはいかないかもしれませんが、シーズンを通して「良い選手」「良いチーム」ではなく「勝てる選手」「勝ちにこだわるチーム」の構築に努めてまいります。

2014シーズンは、昨シーズン当初から選手が自ら言ってきた「リーグ戦でのタイトルを獲る」ということにこだわってまいります。

今シーズンこそリーグタイトル獲得に向けてみなさまのご協力が必要です。

今後ともFC東京への変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## クラブ理念



## GUIDELINE

### 2015VISION達成に向けた行動指針と基盤

#### 【行動指針】

「自立」による弛まぬ革新

- 先の読めない時代・変化する状況の中、自ら考え、課題を見出し、具体的対策を立て実行
- そのために、関係するあらゆる人と本音で話せるコミュニケーションを実施

#### 【基盤】

- ステークホルダーとの継続的なコミュニケーション
- 地域性(地域貢献)、社会性(社会貢献)の更なる推進
- 「青赤スピリット」の尊重  
青: 洗練された首都東京のイメージ=先進性、先見性、革新性、スタイルッシュ、クール  
赤: 伝統ある江戸文化のイメージ=伝統の継承、礼儀・礼節・作法・道徳の継承、江戸っ子気質の継承(粋でいなせ、洒落っ気、義理人情)、熱い情熱
- コスト意識の醸成
- コンプライアンスの徹底
- 「人」を重視する組織運営と全員協力の姿勢
- 環境に配慮した活動

## BASIC PHILOSOPHY

### FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型Jリーグクラブ」づくりを目指します。

- 1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- 2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりをベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- 3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感(地域社会への帰属意識)の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- 4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。

## 2015 VISION

### FOR NEXT INDEPENDENCE 次なる自立をめざして

- 1 **トップチームに常に選手を輩出する育成体制の確立**  
1: 一貫性のある「FC東京新育成プログラム」の策定と運営体制の確立  
2: トップチーム、および世界で通用する選手の輩出
- 2 **J1リーグで常に優勝争いのできるクラブづくり**  
1: 「自立」し、人間的魅力にあふれ、世界で通用する選手・スタッフの育成体制の構築  
2: 攻守に支配するFC東京らしいサッカースタイルの確立  
3: リーグ戦制覇(ACL出場)
- 3 **満員のスタジアム、魅力的なスタジアムの実現**  
1: 1試合平均ご来場者数30,000人の達成  
2: SOCIO12,000人の達成  
3: 足を運びたい魅力ある「イベント」や「飲食売店」などによるスタジアムのワンダーランド化
- 4 **「応援」「支援」していただけるファン・サポーターの拡大**  
1: クラブサポートメンバー20,000人&80,000口の達成  
2: クラブとファン・サポーターとの新たな双方向コミュニケーションの充実
- 5 **サッカーを中心としたスポーツの普及・振興および地域コミュニティの活性化への貢献**  
1: 子供たちが「夢」を感じ、「スポーツの楽しさ」に出会い、「自立」を引き出すサッカー普及活動の実現
- 2: 地域スポーツの普及・振興、そして地域貢献の拠点となる指定管理者業務の拡充
- 3: 地域コミュニティ組織としてのFC東京・市民スポーツボランティアとの協力体制の確立
- 4: スタジアムを中心とした周辺エリア(6市)でFC東京と触れ合える活動の毎月1回以上の実施
- 6 **FC東京ブランド価値の向上**  
1: 「首都東京にあるプロサッカーチーム」「世界を目指しているクラブ」である知名度および評価の向上  
2: グッズ販売チャネルの拡大、首都東京らしいコラボグッズの展開  
3: 東京ドロンパの認知度向上と更なる人気向上に向けた施策の展開  
4: FC東京の情報発信拠点を23区内に10ヶ所設置  
5: クラブ独自の映像製作など新たな情報発信によるクラブブランディング力の向上
- 7 **更なる「総合スポーツクラブ」化へ向けた次のステップへの移行**  
1: バレーボールチームに続く、サッカー以外のスポーツなどとの連携の検討  
2: バレーボールチームのV・プレミアリーグでの優勝争いと普及活動の拡大

## 会社概要

### 会社名

東京フットボールクラブ株式会社 TOKYO FOOTBALL CLUB Co.,Ltd.

### 創立

1998年10月1日(都民の日)

### 主な事業

1. プロサッカーチーム「FC東京」(1999年よりJリーグディビジョン2に加盟)の運営
2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

### 所在地

【本社】  
〒135-0003  
江東区猿江2-15-10

【TEL】03-3635-8985  
【FAX】03-3635-8974

【小平グランド】  
〒187-0001  
小平市大沼町3-14-1  
東京ガス武蔵野苑内  
【TEL】042-342-8950  
【FAX】042-342-8973

【味の素スタジアム事務所】  
〒182-0032  
調布市西町376-3  
味の素スタジアム内  
【TEL】042-488-6255  
【FAX】042-488-6253

### 資本金

1,065,000,000円  
(2014年1月31日時点)

### エンブレム



強く、愛されるチームをめざして



# FC東京の歩み

東京ガスフットボールクラブを前身に、99年「FC東京」としてJリーグに参入。  
以来都民のためのJクラブとして、念願のリーグタイトル獲得を目指しています。

## ■クラブの歴史

- 1935年 前身である東京ガスフットボールクラブが創部。
- 1986年 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991年 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果たす。
- 1992年 JFLに加入。
- 1997年 天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝まで進出。
- 1998年 JFL念願の初優勝を飾る。Jリーグディビジョン2 (J2) に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999年 ヤマザキナビスコカップでベスト4に進出。J2リーグ戦では2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
- 2000年 J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
- 2001年 東京スタジアム(現 味の素スタジアム)開業。2011VISION発表。
- 2004年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
- 2008年 クラブ創立10周年を迎える。32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8、天皇杯ベスト4。
- 2009年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロンパ」が登場。
- 2010年 J1リーグ戦で16位となり、J2降格。「2010 Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
- 2011年 J2リーグ戦で優勝、1年でのJ1復帰。第91回天皇杯で初優勝、AFCチャンピオンズリーグ出場権獲得
- 2013年 リーグ戦8位。天皇杯はベスト4。東京競馬場にて「FC東京フェスティバル2013 presented by 東京ガスライバル」を開催。CEサパテル(スペイン2部)と業務提携し、プレシーズンマッチを開催。

## ■2013年の戦績

### 2013 J.LEAGUE DIVISION 1 順位表

順位	チーム名	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
1位	サンフレッチェ広島	63	19	6	9	51	29	+22
2位	横浜F・マリノス	62	18	8	8	49	31	+18
3位	川崎フロンターレ	60	18	6	10	65	51	+14
4位	セレッソ大阪	59	16	11	7	53	32	+21
5位	鹿島アントラーズ	59	18	5	11	60	52	+8
6位	浦和レッズ	58	17	7	10	66	56	+10
7位	アルビレックス新潟	55	17	4	13	48	42	+6
8位	<b>FC東京</b>	<b>54</b>	<b>16</b>	<b>6</b>	<b>12</b>	<b>61</b>	<b>47</b>	<b>+14</b>
9位	清水エスパルス	50	15	5	14	48	57	-9
10位	柏レイソル	48	13	9	12	56	59	-3
11位	名古屋グランパス	47	13	8	13	47	48	-1
12位	サガン鳥栖	46	13	7	14	54	63	-9
13位	ベガルタ仙台	45	11	12	11	41	38	+3
14位	大宮アルディージャ	45	14	3	17	45	48	-3
15位	ヴァンフォーレ甲府	37	8	13	13	30	41	-11
16位	湘南ベルマーレ	25	6	7	21	34	62	-28
17位	ジュビロ磐田	23	4	11	19	40	56	-16
18位	大分トリニータ	14	2	8	24	31	67	-36

### 2013 J.LEAGUE DIVISION 1 平均ご来場者数

順位	チーム名	1試合平均
1位	浦和レッズ	37,100人
2位	横浜F・マリノス	27,496人
3位	アルビレックス新潟	26,112人
4位	<b>FC東京</b>	<b>25,073人</b>
5位	セレッソ大阪	18,819人

※J1リーグ平均17,226人

### THE 93rd EMPEROR'S CUP 戦績

第93回 天皇杯全日本サッカー選手権大会

回戦	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
2	9/7	土	横河武蔵野FC	○1-0	味の素スタジアム
3	10/13	日	ジェフユナイテッド千葉	○1-1 (PK6-5)	フクダ電子アリーナ
4	11/16	土	大宮アルディージャ	○3-0	NACK5スタジアム大宮
準々決勝	12/22	日	ベガルタ仙台	○2-1	ユアテックスタジアム仙台
準決勝	12/29	日	サンフレッチェ広島	●0-0 (PK4-5)	国立競技場

### 2013 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 戦績

節	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
1	3/20	水祝	サガン鳥栖	△0-0	駒沢陸上競技場
2	3/23	土	鹿島アントラーズ	○4-2	県立カシマサッカースタジアム
3	4/3	水	名古屋グランパス	△0-0	味の素スタジアム
4	4/10	水	セレッソ大阪	●1-2	大阪長居スタジアム
5	4/24	水	大分トリニータ	△0-0	大分銀行ドーム
6	5/15	水	アルビレックス新潟	○2-1	国立競技場
7	5/22	水	試合なし		

※2勝3分1敗でBグループ3位となり、予選リーグ敗退



# ホームタウンの紹介

チームに出資している三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市をはじめ、東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。

**A 東京フットボールクラブ本社**  
江東区猿江2-15-10  
【TEL】03-3635-8985

**FC.TOKYO U-15 深川**  
江東区猿江2-15-10

**B FC東京 小平グランド**  
小平市大沼町3-14-1  
東京ガス武蔵野苑内  
【TEL】042-342-8950

**FC.TOKYO U-18**  
小平市大沼町3-14-1

**C 味の素スタジアム事務所**  
調布市西町376-3  
味の素スタジアム内  
【TEL】042-488-6255

**D FC.TOKYO U-15 むさし**

**スタジアム**

**C 味の素スタジアム**  
調布市西町376-3

**E 国立競技場**  
新宿区霞ヶ丘町10

**F 駒沢陸上競技場**  
世田谷区駒沢公園1-1

**指定管理者**

**G 上井草スポーツセンター**  
杉並区上井草3-34-1  
【TEL】03-3390-5707

**H 小金井市総合体育館**  
小金井市関野町1-13-1  
【TEL】042-386-2120

**I 小金井市栗山公園健康運動センター**  
小金井市中町2-21-1  
【TEL】042-382-1001





### 地域イベント



子どもたちに人気のキックターゲットをはじめ、地域イベントを通じてホームタウンのみなさまとふれあうことで、よりよい関係づくりを目指しています。地域の方々からの生のご意見や反応を感じられる貴重な機会でもあります。(2013年は278回実施しました。)

## REPORT-1

### 選手商店会巡回



日ごろよりご支援、ご協力いただいている商店会を選手たちが訪問する毎年恒例の「選手商店会巡回」。選手たちから日ごろの感謝を伝えるだけでなく、近隣の子どもたちを集めてのサイン会などを実施した商店会もありました。

## REPORT-2

### 街路灯フラッグ



東京都で開催された「スポーツ祭東京2013」を盛り上げるため、三鷹市、府中市、調布市、小金井市にて、FC東京と「スポーツ祭東京2013」がコラボレーションした街路灯フラッグが掲出されました。チームカラーの青赤を配したデザインはどの地域でもとても目立ちます。

## REPORT-3

### 小学校訪問



選手会が企画・実施をしている「小学校訪問」は今年で6年目。地元小学校を訪問した選手たちは、子どもたちと一緒にボールを蹴ったり、仲間の大切さ、夢や目標を持つことの大切さを伝えました。給食の時間は子どもたちからの質問攻めとなりました。

## REPORT-4

### 病院訪問



病院を選手たちが訪問し、入院されているみなさまとふれあいました。いろいろな立場の方々笑顔で話しているうちに、選手たちが逆に励まされ、勇気づけられることも多くありました。

## REPORT-5

### チラシ配り



ホームゲーム前にスタッフがユニフォームを着て駅頭に立ち試合告知を行います。一人でも多くの方に東京のサッカーをご覧いただきたい、スタジアムを満員にしたいという想いから取り組んでいます。

## REPORT-6

### 東京ヤクルトスワローズとタイアップ



「東京のスポーツを盛り上げよう!」の合言葉のもと、東京に本拠地を置く東京ヤクルトスワローズ(プロ野球)とのタイアップ企画を実施。

## REPORT-7

### FC東京スポーツセミナー



「上井草スポーツセンター」では毎年【FC東京スポーツセミナー】を開催。施設を拠点とし、より身近にFC東京を感じてもらえるようなイベントを企画しています。

## REPORT-8

### 6市訪問



チームに出資している三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市を表敬訪問しました。

## REPORT-9

### FC東京・市民スポーツボランティアとは

FC東京のホームゲーム運営をサポートいただいている「FC東京・市民スポーツボランティア」の皆さん。味の素スタジアムのこけらおとしでもあった、2001年3月10日の1stステージ開幕戦から活動が始まりました。1試合平均約70名の方にイベントのサポートなど様々なお手伝いをしていただいております。

## VOLUNTEER





# スタジアム

## 味の素スタジアム

住所 東京都調布市西町376-3  
 電話番号 042-440-0555  
 収容人数 49,970人



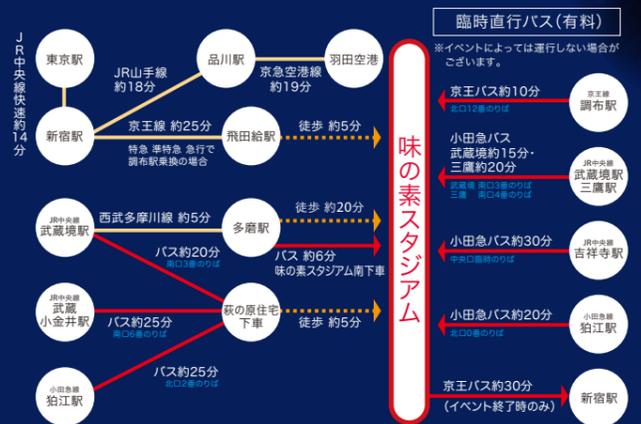
## 味の素スタジアムアクセス

新宿駅から飛田給駅まで京王線準特急で約18分  
 (飛田給駅臨時停車の場合)

### ■鉄道路線案内



### ■アクセス別所要時間



スタジアムでは、たくさんのイベントを実施しています。

オリジナルグッズがもらえたり、人気マスコットとのグリーディング など盛りだくさんのイベントを用意してお待ちしています。

## 【夏まつり】

スタジアムのワンダーランド化を目指し、様々なイベントを実施。  
 8月3日大分トリニータ戦には「夏まつり」として、LIVEや浴衣イベントなども行いました。



## 2013年度 マッチイベント実施報告

月日(曜日)	対戦相手	イベント名
3/20(水祝)	サガン鳥栖	ナビスコキッズイレブン
4/3(水)	名古屋グランパス	ナビスコキッズイレブン
4/20(土)	名古屋グランパス	ENEOS Day
4/27(土)	川崎フロンターレ	adidas Day
5/15(水)	アルビレックス新潟	ナビスコキッズイレブン
5/18(土)	清水エスパルス	TOMAS グランド フェスタ 2013
7/6(土)	サンフレッチェ広島	すき家 Day
8/3(土)	大分トリニータ	2013FC東京夏まつり presented by 東京ガスライブパル
8/17(土)	横浜F・マリノス	ローソン Day
8/28(水)	サガン鳥栖	東京商工会議所 Day
9/14(土)	浦和レッズ	もしもしホットラインの日
10/5(土)	鹿島アントラーズ	Teddy Bear Day
10/19(土)	アルビレックス新潟	三菱電機 Day
11/10(日)	セレッソ大阪	AJINOMOTO Day
11/23(土祝)	湘南ベルマーレ	東京都民銀行 Day



## 【オリンピック招致】

8月28日サガン鳥栖戦で2020年の東京五輪招致イベントを実施。9月14日浦和レッズ戦にはパラリンピック3大会出場の佐藤真海さんが特別ゲストとして来場しました。



## 【FC東京スタコン】

7月6日サンフレッチェ広島戦はサッカー観戦を通じてスタジアムでの新しい出会いをプロデュースし、男女で楽しく盛り上がる「スタジアムコンパ=スタコン」を開催しました。



## 【青赤横丁】

東京のグルメをとことん楽しんでいただけのように「東京」にこだわった美味しいフードやドリンクを集めた「青赤横丁」を開催。



## 【ハンドウィズハンド】

憧れの選手と手をつないでピッチに入場できる夢のようなイベント「ハンドウィズハンド」。試合前の選手集合写真も一緒に撮影します。



## FC東京フェスティバルを開催



2月にFC東京フェスティバル2013 presented by 東京ガスライブパルをJRA東京競馬場で開催しました。

## CEサバデルと業務提携

6月にスペインのCEサバデルと業務提携。田邊草民選手が1年間の期限付き移籍。



## 2013 キッズクラブフェスティバルを開催



7月にはプレシーズンマッチを開催しました。



7月に2013 キッズクラブフェスティバル presented by 森ビルを開催。当日は3,000人を超えるご家族にお越しいただきました。

募金活動

東日本大震災復興支援の募金



東日本大震災復興支援の募金活動を行いました。集まった義援金はJリーグを通じて、被災地支援へ寄付させていただきました。

赤い羽根共同募金

東京都共同募金会および共同募金調布地区協会との協働で「赤い羽根共同募金」を行いました。U-15の育成世代の選手も参加しました。



伊豆大島等台風災害義援金の募金

伊豆大島等における台風26号災害の復興支援活動として、11月以降のすべてのホームゲームで義援金募金活動を実施しました。復興を願い、選手も募金活動に参加。



選手招待シート

トップチーム所属の選手たちが、地域に貢献したいという思いから、福祉施設のみならずサッカークラブの少年、少女のお子さまをホームゲームに招待しました。

1	2	3	4
塩田 仁史	徳永 悠平	森重 真人	高橋 秀人
5	6	8	9
加賀 健一	太田 宏介	長谷川 アリアジャスール	渡邊 千真
18	20	49	
石川 直宏	権田 修一	ルーカス	

社会貢献活動

暴力団等排除宣言への協力

警視庁およびJリーグと連携して、暴力団等排除のPR活動を実施しました。



人権啓発活動への協力



東京都人権啓発活動ネットワーク協議会と連携して、子どもや若者を中心とした年齢層向に人権問題に関して理解を深めるためにPR活動を実施しました。

オレンジリボン(児童虐待防止シンボルマーク)普及啓発活動への協力

東京都福祉保険局少子社会対策部と連携して、オレンジリボン普及啓発活動のPR活動を実施しました。



薬物乱用防止啓発活動への協力

京都福祉保健局と連携して、10月、11月の「麻薬・覚醒剤乱用防止運動都民大会」による薬物乱用防止啓発活動のPR活動を実施しました。

少年少女観戦送迎バスツアー

東京都内在住の少年少女をバス送迎付きでホームゲームに招待する「少年少女観戦送迎バスツアー」を実施。多くの企業・団体様からCSR(企業の社会的責任)活動の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えるお手伝いをさせていただいています。



ECO活動

緑の募金



ECO活動の一環で、味の素スタジアムで実施したホームゲームのゴール数だけ東京都緑の募金へ寄付をしています。

リユースカップ、マイ箸

試合時に出る紙コップや割り箸によるゴミの量を減らすため、スタジアム館内では紙コップや割り箸は使用せず、リユースカップやリユース箸を使用しています。またスタッフ・関係者はマイ箸を持参しています。

都内20か所(スタッフ派遣校4校を含む)で行われているサッカースクールには、約4,500人の子どもたちが在籍しています。子どもたちがサッカーだけでなく、積極的にコミュニケーションを取りながら活動しています。

### 2013シーズン サッカースクールコース



### 子どもたちにボールを蹴る楽しさを教えたい!

FC東京では幼稚園児から中学生までを対象としたサッカースクールを開校しています。2012年からは女子限定のスクールも開校。子どもの「自立」を促す指導を通じて、一人ひとりの目的・体格・体力に合わせてサッカーの楽しさ、スポーツの面白さを知ることができるスクールです。

また「アドバンスクラス」は、『個』に重点を置き、魅力ある選手を育成することを目的とし、基本技術や個人戦術の習得を目指し開設されているクラスです。原則として小学3年生～5年生を対象としたオープン形式のセレクションを実施し、合格者が入会できるシステムとなっています。

さらに、その他にも各団体が主催するサッカースクールに、FC東京が所属コーチを派遣して指導を担当しているスクールもあります。

これらが都内20箇所(スタッフ派遣校4箇所含む)で開校されており、FC東京が誇るコーチ陣が、何かスポーツを始めたいと思っているお子さまや、サッカーがもっと上手になりたいお子さまの参加を心よりお待ちしております。



adidas CUP 2013 第28回日本クラブユースサッカー選手権大会に2004年以来の出場。準優勝を果たした。  
(8月24日[土]adidas CUP 2013 第28回日本クラブユースサッカー選手権大会決勝vs横浜F・マリノスジュニアユース)



東京都ユース(U-15)サッカーリーグを優勝して掴んだ関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部参入戦。2戦ともに勝利し、FC東京U-15むさし創設10年目に関東リーグへの初昇格を決めた。  
(2013年12月8日[日]関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部参入戦決定戦vsFC古河)



公式戦2年ぶりに開催となった東京ヴェルディとの東京ダービーは、4-2で勝利。  
(2014年2月2日[日]第15回東京都クラブユースU-17サッカー選手権大会決勝リーグ第3戦vs東京ヴェルディユース)



第15回東京都クラブユースU-17サッカー選手権大会で2年ぶりに優勝を果たし、天皇杯予選学生の部へ出場も決めた。  
(2014年2月11日[火]第15回東京都クラブユースU-17サッカー選手権決勝vs三菱養和SCユース)

サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行っています。



### キャラバン隊

教育委員会と連携して「キャラバン隊」を実施。小学校へ普及部コーチが巡回しました。サッカーの楽しさを伝える「普及活動」から、生徒や教師自ら考えて行動できるような「自立」体験の場に活用していただけるよう訪問回数を増やしました。



### キッズマッチ

味の素スタジアムでの公式戦前に、プロの選手たちと同じピッチで子どもたちが思いっきりボールを蹴ることができる「キッズマッチ」を実施。地元の少年チームやスクール生が元気いっぱいにプレイしました。



### 愛らんどリーグ

伊豆諸島・小笠原諸島の子どもたちがサッカーを通じてお互いの親睦を深めることを目的とした「愛らんどリーグ」に毎年ご招待いただき、サッカー教室を開催。その縁もあり、台風26号災害に見舞われた大島町で「復興支援サッカー交流会」を開催しました。



### 女性のサッカースクール

女性にも気軽にサッカーを楽しんでもらいたいという思いから、女性を対象としたサッカースクールを実施。日本サッカー教会の推進する女子サッカー普及活動「なでしこひろば」も実施しました。



### おとなのサッカー教室

大人の方を対象とした「おとなのサッカー教室」では、「観るスポーツ」だけでなく「するスポーツ」としてプレーする機会を作りました。



# バレーボールチーム

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。1998年V1リーグに昇格。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行し、2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ昇格。



## 活動方針

- 1 バレーボールを通じた地域貢献**  
バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。
- 2 バレーボールの普及と発展**  
バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。
- 3 自立した個人の集団の創造**  
常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。



## 普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによる「バレーボール教室」を2002年から開催。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。2013年度は、東京都内の小学生～高校生を対象に7回実施、946人が参加しました。また、18歳以上の女性を対象の「駒沢スマイルクラブ」や「小金井バレーボールスクール」、小学3年生～6年生を対象とした「西東京ジュニアバレーボールクラブ」など、FC東京バレーボールチーム指導専門スタッフによるレッスンも定期的実施。この他、指導専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



2013年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
東京都高校生男子バレーボール教室	7月27日(土)	東京体育館サブアリーナ	21人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月28日(日)	立正大学付属立正中学校・高等学校体育館	178人
第6ブロック中学生バレーボール教室	7月30日(火)	TG深川体育館	173人
第9ブロック中学生バレーボール教室	7月31日(水)	府中市立府中第六中学校体育館	209人
第3ブロック中学生バレーボール教室	8月2日(金)	中野区立第二中学校体育館	115人
品川区小学生バレーボール教室	8月4日(日)	品川区立小中一貫校 荏原平塚学園体育館	97人
東村山市ジュニアバレーボール教室	8月6日(火)	東村山市民スポーツセンター	153人

## 2012/13シーズンの戦績

2012/13 V・プレミアリーグ男子順位表

順位	チーム名
1位	堺プレイゼース
2位	パナソニックパンサーズ
3位	東レアローズ
4位	サントリーサンパース
5位	豊田合成トフェルサ
6位	JTサンダーズ
7位	FC東京
8位	大分三好ヴァイセアドラー

- 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- 第62回 黒鷲旗 全日本男女選抜大会 ベスト8

## 練習場



# チームマスコット

FC東京のオフィシャルマスコット、東京ドロンパ。その高い身体能力を活かしてピッチ内外でスタジアムを盛り上げます!!

**愛称「東京ドロンパ」**

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。

知らぬ間にパツと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、<東京ドロンパ>というわけである。

狸の世界では誰もが認める東京ファンである。そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。



## 2013シーズンクラブスポンサー